

がんばれ 認定農業者!! シリーズ③4

さつま町平川

すみ ぶんきち
角 文 吉 さん 56歳



角さんは、2つの鶏舎で鶏6万5千羽を飼育されています。

養鶏を始めて25年目。預託契約を結んでいる全農鹿児島くみあいチキンフーズから預かった雛鳥を、およそ53日間かけて親鳥に育て出荷しています。鶏は、寒暖の差に敏感なため、夏と冬場の温度管理に気をつけて大切に飼育されます。

今では、温度感知や通風などをコンピューターで管理ができる鶏舎にしていきたいと将来に夢を抱く、就農3年目の晋吉さん（息子）が、父のもとで飼育技術を学びながら、家業を手伝っています。

角さんは「近い将来、息子の考えを尊重し、経営全般を任せたい」と期待を寄せていました。

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

さつま町内の、激特事業に関する進捗状況などについて、お知らせします。

1. 激特事業の状況と今後の予定について

用地等調査については、現在、虎居地区を含むさつま町内全13箇所（山崎橋関連を除く）全てを平成21年2月末で完了しています。

また、現在用地等調査を完了させた12箇所において用地協議中であり、用地取得が完了した箇所より逐次工事を実施していくこととしています。

なお、大願寺地区及び市場地区におきましては、関係者の方々の多大なるご協力のもと、用地の取得が完了しています。

2. 激特事業工事箇所

- ・二渡地区（山崎大橋上流側築堤約900mの内600m）H20年3月末完成
- ・大願寺地区においては、築堤工事を実施しています。
- ・現在、推進分水路箇所においては埋蔵文化財調査をH21年8月完了を目途に実施しています。また、分水路開削に伴う掘削土砂の運搬用通路として川内川に2箇所の仮橋設置工事を実施しています。
- ・穴川橋架け替えに伴い、現橋梁の撤去工事に着手しています。橋梁の橋台設置に伴い町道佐志駅穴川線が、現在、通行止めとなっています。工事期間中の通行など、ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

3. 宮之城地域川づくり検討会について

平成19年度より開催してきた宮之城地域川づくり検討会・住民部会で作成しました「宮之城地域川づくり計画（案）」につきまして、住民の皆様へ、より分かりやすいように作成した景観模型や映像などを用いての最終報告を「第6回宮之城地域川づくり住民部会」【最後の住民部会となります】3月8日午後2時から虎居地区公民館で開催します。

4. 鶴田ダム再開発事業の進捗について

現在、町道平江線を工事用道路として一部拡幅工事を実施しています。

今後とも河川事業におけるご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ】 国土交通省 川内川河川事務所 調査課 課長 竹下真治
開発工務課 課長 樋口俊二
☎(0996) 22-3271

■くらしの情報

●問い合わせ:さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

消防本部 ☎52-0119

●山火事防止について

山火事は、例年春先に多く発生しています。この時季は、森林内に落ち葉が積もり、下草も枯れて燃えやすい状態にあるうえ、乾燥した強い季節風が吹くなど、山火事が発生しやすい気象条件に加え、田畑の畦焼きが広く行われることによると考えられます。

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であることを認識し、防火意識を高めることが大切です。山火事のほとんどが、人のちょっとした火の取り扱いの不注意で発生していることから、次の点に十分気をつけましょう。

枯れ草などがある、火災が起こり

やすい場所では、たき火をしない。

たき火など火気の使用後、その場所を離れるときは完全に消火する。 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしない。 火入れを行うときは、必ず許可を受ける（本庁耕地林業課、各総合支所耕地林務係）。 出来る限り多くの監視人を置く。 たばこは、指定された場所で喫煙し、吸殻は必ず消し、決して投げ捨てないこと。

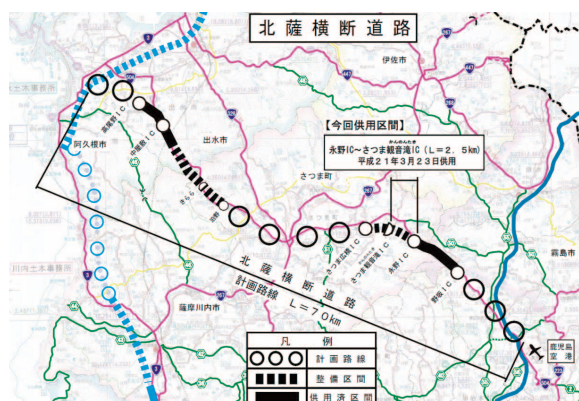
●1月の火災・救急情報

○火災	○救急
発生件数 1件	出動件数 80件
内訳	運んだ人 76人
その他 1件	内訳
	急病 52件48人
	交通事故 5件 5人
	その他 23件23人



北薩横断道路「薩摩道路」

（永野IC～さつま観音滝IC間）の開通について



北薩横断道路は、鹿児島空港と北薩地域を結ぶ延長約70kmの地域高規格道路であり、地域間の交流、連携を促進し、経済・産業などの活性化を支援する道路です。

このうち、さつま町永野から求名の約5kmについて、「薩摩道路」として平成14年度から事業が進められてきましたが、今回、永野IC～さつま観音滝IC間の約2.5kmについて工事が完了し、3月23日（月）午後0時から通行できるようになります。

■通り初め式

日時：3月23日（月）午前10時～午前10時30分

場所：さつま観音滝IC

主催：鹿児島県、薩摩道路（永野IC～さつま観音滝IC間）開通式協議会

※一般開放 午後0時～

広報トピックス

電源立地地域対策交付金を活用して行った事業

皆さんが毎月支払う電気料金のうちから電力会社は販売電気1,000KW/hあたり375円を電源開発促進税として国に納めています。

国は発電用施設周辺地域の地域振興対策のために関係市町村へ交付金を交付しています。

本町にも、水力発電施設関係交付金と電力移出県交付金（県内の発電電力が消費電力を超えて他県へ移出されている部分の電力量に対する交付金）が交付されており、平成20年度はこの交付金を活用して次の事業を実施しました。



事業で整備された生涯学習施設パソコン

平成20年度に電源立地地域対策交付金を活用して行われた事業

■町道改良舗装工事（時吉湯田線、小池線、小屋段線、小鍋線）

■町道測量設計業務（藤川境田線、蘭ヶ迫線）

■最終処分場整備事業

■小・中学校AED設置事業

■生涯学習施設パソコン整備事業

■ブロードバンド・ゼロ地域解消事業

■公共施設維持補修のための基金造成事業